

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	年 月 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部地域行政学科
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2024年5月8日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	メンフィス大学(日本語名) University of Memphis(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月上旬～5 月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	16,700 人
創立年	1912 年

## 留学費用

留学費用項目	現地通貨 ( )	日本円	備考
授業料		0円	交換型のため、授業料は一度請求されるが後ほど取り消される。
宿舍費		1,153,200円	留学生は Carpenter Complex という寮に住むことが勧められるが、入居希望者が多いため早めの申し込みが必須。仮に入れなかった場合も留学先の複数人の国際事務室職員にそれぞれ連絡し、入居希望をすると通しやすい。値段は他の寮の方が安い。
食費		200,000円	値段は高いが、近郊のアジアマーケットで日本の調味料が手に入るのにおすすめ。
図書費		50,000円	基本的に教科書はレンタルだが、稀に教科書を買わなければいけない授業がある。
学用品費		0円	
携帯・インターネット費		60,000円	イエローモバイルという会社を利用した。現地の電話番号も得られるため、何かと便利な場合が多かった。
現地交通費		円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		50,000円	
医療費		0円	
保険費		56,000円	形態：明治大学が進める東京海上日動の保険。
渡航旅費		687,700円	往復で買った方が安くなるはずだ。
ビザ申請費		50,000円	
雑費		円	
その他		300,000円	
その他		円	
合計		2,556,900円	

## 渡航関連

渡航経路
<b>往路</b> 出発地:羽田空港 目的地:メンフィス空港 経由地:ヒューストン空港 <b>復路</b> 出発地:メンフィス空港 目的地:羽田空港 経由地:シカゴ空港
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:  料金:  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ANA 料金:343,850 円  復路 航空会社:ANA 料金:343,850 円 ∴合計:687,700 円
航空券購入方法
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: ) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名: ) <input type="checkbox"/> その他( )
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: ) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 )
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
学校から申し込みのページに希望の宿泊先を記入し送信するように促されるのでそれに従った。このタイミングが遅ければ遅いほど、希望から外れやすくなる。最初は相部屋の寮に決められたが、不満だったため先方の国際事務室に何度も問い合わせ、なんとか希望先の Carpenter Complex に入居できた。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
現地の学生とある程度のプライバシーがあるものの共同生活をするため、友好的な関係を築きましょう。全員とではなくても良いです。スーパーなどへの買い出しの際、車を持っている現地の学生は心強いです。また、アメリカ人はお皿を洗うという概念が欠落している人が一定数いるので、食洗機をフル活用した方が精神的なストレスは減るはず。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

夜は例えばキャンパス内であっても1人で出歩かないようにする。貴重品はポケットに入れるなど身につけるようにする。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

稀に寮のインターネットが繋がらなくなることがあったが、基本的には問題なく利用できた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にカード決済、visa のタッチ決済でほとんどの支払いが可能。現金もある程度持って行ったが、ほとんど使わなかった。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

コンタクトレンズを一年分持っていきました。学内に眼科がありますが、持って行った方が無難なのでおすすめです。また、日本で売っているような調味料はある程度現地のアジアマーケットで調達可能なので、特に持っていく必要はないかと考えます。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
intro to African American Studies		アフリカ系アメリカ人研究入門
科目設置学部・研究科	African and African American Studies	
履修期間	2023 秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面、小規模(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 85 分が 2 回	
担当教授	Malone, DiAnne	
授業内容	アフリカ系アメリカ人の歴史、差別、社会運動全般について学ぶ。	
試験・課題等	週に 1 度小テストがオンラインであり、中間、期末もオンラインで試験がある。毎週教科書やオンラインの記事の読み込み、映画や動画の事前視聴などが求められる。	
感想を自由記入	アメリカの大学の中でもあまり多くはない African American Studies の学科であり、私以外は全てアフリカ系アメリカ人であった。明治大学の政治経済学部石山ゼミにおいてアメリカ社会学を専攻していた私にとって、ゼミで扱われた内容に加えてさらに深い内容が学べる授業であり、とても良い経験となった。教科書は毎週 30~60 ページほどで最初は苦労したが、慣れて行った。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intro to Film		映画論入門
科目設置学部・研究科	Communication Studies	
履修期間	2023 秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面、中規模(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	Linton, Daniel	
授業内容	映画の撮影技法、過去の名作に関する歴史、考察、映画産業全般について学ぶ。	
試験・課題等	中間試験、期末試験、3 人 1 組でのグループエッセイ。毎週教科書のリーディングが求められる。	

感想を自由記入	かなり難しかったが、同時に面白さがあった。映画をただ見るという受動的な消費の仕方をするのではなく、能動的に背景や技法を考えながら見ることで映画作品に対する捉え方が変わった。映像関係の仕事に携わりたい場合、履修を薦める。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)	
Oral Communication	オーラルコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	Communicaiton	
履修期間	2023 秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面、中規模 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 85 分が 2 回	
担当教授	Settles, Venise	
授業内容	プレゼンテーションに関する技法を学び、実践する	
試験・課題等	毎週のプレゼンテーションと、中間、期末のプレゼンテーション。個人とグループの両方がある。	
感想を自由記入	明るく、簡潔に、そしていかに魅力的にプレゼンテーションを行うかを学んだ。現地学生や留学生に囲まれて、日本人が誰 1 人としていない空間で英語でプレゼンテーションを行うことでかなり精神的に成長できたと考えている。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)	
Multimedia Translation	マルチメディア翻訳	
科目設置学部・研究科	Japanese	
履修期間	2023 秋学期/2024 春学期	
単位数	各 3、計 6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面、小規模(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 85 分が 2 回	
担当教授	Matsuda, Yuki	
授業内容	日本語の漫画、アニメ、動画等を根拠を用いて英語に翻訳、プレゼンテーションをする。	
試験・課題等	毎週のプレゼンテーション。中間、期末のプレゼンテーションでは通常の 3 倍のプレゼンテーションが求められる。	
感想を自由記入	将来的に英語記事の日本語への翻訳、もしくは日本語記事の英語への翻訳を仕事の一部に組み込みたいと考えていたために受講。直訳的ではなく、日本語を英語のナチュラルなニュアンスに落とし込むことは難しかったが、授業を通じて成長できた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	2024 春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、中規模(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 55 分が 3 回
担当教授	Woods, Mark
授業内容	社会学のフレームワークを学び、それらを実際に発生している社会問題に用いながら考察を深める。毎週教科書とオンラインの社会学に関する記事のリーディングが求められる。
試験・課題等	毎週のオンライン小テスト、中間と期末のオンラインテスト。
感想を自由記入	日本の大学在学中は政治や経済、企業論等の授業を履修していたが、社会学に関しては履修していなかったため履修した。内容は難しくはなかったが、進度が早いため毎週の予習としての教科書リーディングに時間を費やした。授業に参加し、テストに真面目に取り組めば良い成績を取れる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Multicultural Psychology	多文化心理学
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	2024 春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、中規模(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 85 分が 2 回
担当教授	Srisarajivakul, Emily
授業内容	人種、地域、国における文化の差異や摩擦について心理学的な角度から考察を深める。
試験・課題等	中間、期末のオンラインテスト、中間、期末のレポート、期末の 4 人 1 組のプレゼンテーション
感想を自由記入	授業中の発言が最もしやすい、暖かい雰囲気での授業であった。アジア系であり、日本人であり、留学生であるというアイデンティティを持つ自分の考えを、授業中に扱われる事象に当てはめて考えた。きちんと出席し、授業に参加すれば良い成績を取れる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Religion	宗教学入門
科目設置学部・研究科	Religion
履修期間	2024 春
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、小規模、レクチャー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 55 分が 3 回
担当教授	Waddell, Ada
授業内容	世界における宗教の歴史、概要について学ぶ。
試験・課題等	毎週のオンライン小テスト、中間、期末テスト、期末レポート
感想を自由記入	講義自体はかなり退屈だったが、自分に馴染みがない宗教行事に参加し、期末レポートにまとめるという課題は面白かった。ルームメイトの親族が参加しているキリスト教バプテスト派の礼拝に参加し、初めてゴスペルを耳にするなど新鮮な経験ができた。成績もとやすい。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	IELTSの受験
	10月～12月	留学確定
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	手続き、渡航準備
	8月～9月	秋学期開始
	10月～12月	中間、期末試験、秋学期終了。冬季休暇。
留学/帰国年	1月～3月	春学期開始
	4月～7月	中間、期末試験。春学期終了。帰国。
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

公立校であり、地方であることが最大の決め手でした。というのもニューヨークや LA、サンフランシスコといった大都市付近の大学は物価が高く、また日本人学生も多い印象だったため、物価が比較的安く、日本人はおろかアジア人の人口が少ないメンフィスは理想的な留学先だったからです。結果として、一定数日本からの留学生はおり、もちろん彼らとも交友関係を深めましたが、加えて趣味のスケートボードを通じて数多くのかげがえのない現地の友人を多数作ることができ、またこの凄まじい円安の時代に比較的費用を抑えて留学できました。(もちろん決して安くはありません。大金です。ただ、大都市近の大学に前年度交換留学した学生よりも費用はかかっていない印象です。当時よりも1ドルあたり 20 円程度円安となっているにも関わらずです。)

勉強は大変ですが、真摯に真面目に取り組めばきっと良い結果が出ます。教授や学生とは積極的にコミュニケーションをとりましょう。友人作りは、個人的に趣味と寮が最も重要になると考えます。前者について、これは自分の努力である程度賄えます。私は趣味でスケートボードをしており、オーリーやキックフリップ等の初心者トリックであればそれなりにできました。そのため、キャンパスで見かけた大学に通うスケーターに声をかけ、セッションをすることで仲良くなり、毎週スケートパークに連れて行ってもらい、そこで新たに大学外の友人を作ることができました。また、別の日本人学生はバスケットボールを通じて友人を沢山作っていました。このように、アメリカ的な趣味を持っていると、友人作りに大きく役立ちます。もちろんそれが全てではありませんが、大きなアドバンテージになることは確かです。また、後者の寮については完全にランダムのため、運要素が大きいです。私はたまたまルームメイトに恵まれ、彼らとも深い交友関係を築くことができましたが、そうでない学生も多かったようです。ただ、両者に共通して言えるのが積極的にコミュニケーションを取るのが大切であるということです。待っているのは誰も声をかけてくれるお国柄ではないのです。

さて、最後に僕が唯一後悔しているのは奨学金です。早々に留学生支援の奨学金を受給資格の関係から諦めていましたが、今となればダメもとで交渉して申し込んでおけばよかったと考えております。

円安が加速する世の中ですが、留学は支出に見合う価値はあると考えます。交換留学という枠で、自炊等の節約をしつつ場所を選び、積極的にコミュニケーションを取ればその経験はきっとかけがえのない財産となります。メンフィスは治安の悪い地域でしたが、それ以上に人の温かさを感じる街です。みなさん、是非メンフィス大学への留学をご検討ください。